

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	7th Sense 高槻上牧駅前(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の意思決定支援	レッスンのプログラムに関して、可能な範囲で取組方法や取組の順番など利用児童本人が決めることができるよう、コミュニケーションを取っています。その際、『気持ちは変わる』という前提に立って支援を行っています。支援計画にも、利用児童本人がレッスンで行いたいことをできる限り本人に確認し、記載をしています。	自らの意思を言葉で表現することが難しい利用児童に対しては、気持ちを代弁したり、イラストカード等で気持ちを表現できるように支援を強化してまいります。
2	職員の専門性	様々なバックグラウンドを持った職員が今までの経験を活かすだけでなく、子どもから大人への発達について、応用行動分析について、交流分析についてなど教室の学び続けるための研修を行っています。	職員が研修で学んだ内容を療育だけでなく、日々の生活にも生かせるような視点を持って療育を行えるよう努めてまいります。
3	療育内容のバリエーション	自社教材をはじめとした、数多くの教材・教具を活用して療育を行っております。同じ教材を使っても、利用児童の発達段階及びその日の状況に応じて使い方を変えることもあります。	利用児童の「もっとやってみよう」という気持ちを引き出せるような関わりを継続して行ってまいります。また一方でうまく行かないときにも「そういうことがあっても大丈夫。また次にチャレンジしよう」という折れない心を育てるような関わりも継続して行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る取組の実施について	療育のフィードバックは療育内容に関するものが多く、家族の対応についてのお話をさせていただく時間の確保は不十分と感じています。	今後、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニングの実施を検討したいと考えております。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会については現状実施をしておらず、現時点での実施の予定はございません。	今後実施の希望がございましたら、実施を検討いたします。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について	放課後児童クラブや児童館との交流については、主な支援が個別療育ということもあり、児童同士の交流は難しいと考えています。	左記の交流についても実施の希望がございましたら検討してまいります。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	7th Sense 高槻上牧駅前(児童発達支援)					公表日	2025年 3月 29日				
						利用児童数	23名		回収数	18名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0		適切に確保しております。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	1	0		適切に配置しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	1	0		レッスンは個室で行っております。また多機能トイレを設置しており、トイレ内にお着換えボードを設置しております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	1	0		毎日清掃を行っており気持ちよく過ごせるよう心がけております。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1		支援プログラムに沿ってお子様に合った支援内容を提供できるよう、努めてまいります。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	1	0		施設での様子だけでなく、家庭・園等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成してまいります。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	1	0		お子様に必要な支援項目を設定し、具体的にわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		保護者の方に同意を得た支援計画を情報共有し支援を行っております。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	0		お子様の状況に合わせてプログラムを提供できるように取り組んでまいります。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	1	4		現在、放課後等児童クラブや児童館等との交流の機会はございませんが、柔軟に対応したいと考えております。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		契約時に契約書・重要事項説明書の読み合わせを行っております。ご不明な点は随時お尋ねください。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	1	0		面談の際に説明し、同意を得て作成しております。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	2	1		ぜひペアレントトレーニングをやってもらいたいです。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	1	1		定期的な面談以外でもご相談を受けてつけておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		今後もお子様・ご家族の思いを受け止め、支援に反映させられるよう努めてまいります。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	2	8		利用者同士の交流ができればありがたいです。			
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	1		相談や申し入れについては電話・公式LINE・送迎の際いつでもお気軽にお声掛けください。後日改めて面談の時間を設けることも可能です。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	1	0	事業所での面談以外にも電話やLINE等でのやりとりも可能です。状況に応じて柔軟に対応させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	0	4	ブログ等で活動に関する発信を行うように努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0	個人情報は鍵付きロッカーに保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2	避難確保計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0	災害時を想定した職員の定期的な訓練や、利用児童も含めた避難訓練を実施いたしました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	安全計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	5	事故等が発生した際、お電話またはお迎えの際にご連絡が出来るよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	1	0	安心して通って頂けますようこれからも努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	楽しく通所していただきありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	7th Sense 高槻上牧駅前(児童発達支援)		公表日		2025年 3月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個別療育においては十分な広さを確保できています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		着席して課題に取り組むスペースと運動を行うスペースを分けています。またレッスン開始時間と終了時間に目印を付けた時計も設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		レッスンは個別で行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的に会議を実施し、情報共有を行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回事業所の評価アンケートを行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に会議を実施し、情報共有を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内の研修だけでなく、市主催の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	現在原則的に個別での療育のみを行っております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○			今後スーパーバイズ等を受ける機会を持つことを検討いたします。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		LINE等で研修機会の情報提供は行っております。	事業所としてペアレントトレーニングはできておりません。今後実施を検討してまいります。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○					
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○					

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後要望がございましたら、実施を検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		HPやSNSの活用が不十分ですので、今後力を入れていきたいと考えております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供は行っておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	7th Sense 高槻上牧駅前（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の意思決定支援	レッスンのプログラムに関して、可能な範囲で取組方法や取組の順番など利用児童本人が決めることができるよう、コミュニケーションを取っています。その際、『気持ちは変わることがある』という前提を立てて支援を行っています。支援計画にも、利用児童本人がレッスンで行いたいことをできる限り本人に確認し、記載をしています。	自らの意思を言葉で表現することが難しい利用児童に対しては、気持ちを代弁したり、イラストカード等で気持ちを表現できるように支援を強化してまいります。
2	職員の専門性	様々なバックグラウンドを持った職員がこれまでの経験を活かすだけでなく、子どもから大人への発達について、応用行動分析について、交流分析についてなど教室の学び続けるための研修を行っています。	職員が研修で学んだ内容を療育だけでなく、日々の生活にも生かせるような視点を持って療育を行えるよう努めてまいります。
3	療育内容のバリエーション	自社教材をはじめとした、数多くの教材・教具を活用して療育を行っております。同じ教材を使っても、利用児童の発達段階及びその日の状況に応じて使い方を考えることもあります。	利用児童の「もっとやってみよう」という気持ちを引き出せるような関わりを継続して行ってまいります。また一方でうまく行かないときにも「そういうことがあっても大丈夫。また次にチャレンジしよう」という折れない心を育てるような関わりも継続して行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る取組の実施について	療育のフィードバックは療育内容に関するものが多く、家族の対応についてのお話をさせていただく時間の確保は不十分と感じています。	今後、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニングの実施を検討したいと考えております。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会については現状実施をしておらず、現時点での実施の予定はございません。	今後実施の希望がございましたら、実施を検討いたします。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について	放課後児童クラブや児童館との交流については、主な支援が個別療育ということもあり、児童同士の交流は難しいと考えています。	左記の交流についても実施の希望がございましたら検討してまいります。 放デイについては夏休みの企画として工作・実験教室を行っております。この時には利用児童の兄弟(小学生以上に限る)も一緒に参加できるよう体制を整えております。



公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	7th Sense 高槻上牧駅前（放課後等デイサービス）					公表日	2025年 3月 29日	
		利用児童数	33名		回収数	24名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2	0	0		適切に確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	1		適切に配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2	0	1		レッスンルームは個室で行っております。また多機能トイレを設置しており、トイレ内お着換エボードを設置しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	3	0	0		毎日清掃を行っており気持ちよく過ごせるよう心掛けております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	0	0	0		職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	0	0	0		施設での様子だけでなく、家庭・園等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成して参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	0		お子様に必要な支援項目を設定し、具体的にわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	0		保護者の方に同意を得た支援計画を情報共有し支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2	0	0		お子様の状況に合わせてプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	6	11		現在、放課後等児童クラブや児童館等との交流の機会はございませんが、柔軟に対応したいと考えております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	0	0		契約時に契約書・重要事項説明書の読み合わせを行っております。ご不明な点は随時お尋ねください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		面談の際に説明し、同意を得て作成しております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4	2	7		レッスンの振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1	0	0		普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	1	0		定期的な面接以外でもご相談を受けてつけておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	0		今後もお子様・ご家族の思いを受け止め、支援に反映させられるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	3	5	6	10		現在、交流会は設けておりません。保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。また夏休み特別企画を実施しきょうだいの参加も受け付けております。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	1		相談や申し入れについては電話・公式LINE・送迎の際等いつでもお気軽にお声掛けください。後日改めて面談の時間を設けることも可能です。	



	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0	個別面談の時など、バーテーションの中でお話しさせていただくので内容が簡抜けなのが話しにくいな、と感じていました。話したいことがあっても次の方がお迎えに来られたら話せなくなる内容のときもあり、話す事を断念していたので改善されたら良いなと思っていました。	面談について、ご迷惑をおかけし申し訳ございません。より安心してお話いただける環境を整えるよう配慮いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	9		ブログ等で活動に関する発信を行うように努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	1		個人情報は鍵付きロッカーに保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	2		避難確保計画は事務所にご覧いただける場所にご覧いただけます。より周知できる方法を模索して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1	0	2		災害時を想定した職員の定期的な訓練や、利用児童も含めた避難訓練を実施いたしました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	4		安全計画は事務所にご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	1	0		事故等が発生した際、お電話またはお迎えの際にご連絡が出来るよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		安心して通って頂けますようこれからも努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	1	0		楽しく通所していただきありがとうございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	0	0	0		支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		7th Sense 高槻上牧駅前（放課後等デイサービス）			公表日		2025年 3月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個別療育においては十分な広さを確保できています			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		着席して課題に取り組むスペースと運動を行うスペースを分けています。またレッスン開始時間と終了時間に目印を付けた時計も設置しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		レッスンは個別で行っております。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的に会議を実施し、情報共有を行っております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回事業所の評価アンケートを行っております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に会議を実施し、情報共有を行っております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価は実施しておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内の研修だけでなく、市主催の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めております。			
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	現在原則的に個別での療育のみを行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		療育のプログラムの順番や取組方法を考える等、子どもの状況に応じて自己決定ができるよう配慮しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現時点まで左記に該当する児童がおりません。今後、必要な状況ができれば対応いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後スーパーバイズ等を受ける機会を持つことを検討いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		広く地域の子ども達と関わる機会は持っておりますが、夏休み企画では利用時の兄弟も一緒に活動する機会を持ちました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会には参加できておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		LINE等で研修機会の情報提供は行っております。	事業所としてペアレントトレーニングはできておりません。今後実施を検討してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後要望がございましたら、実施を検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		HPやSNSの活用が不十分ですので、今後力を入れていきたいと考えております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供は行っておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○			